

挨拶  
全日本中学校長会会長 榎本智司

本日、第六十八回全日本中学校長会総会の開催に当たり、文部科学省初等中等教育局教育課程課長 合田哲雄 様をはじめ、御来賓の皆様、歴代会長、事務局長の皆様方の御臨席を賜りました。心から御礼申し上げます。

さて、全国から御参会の皆様、新年度を迎え、二か月になろうとしています。順調に学校経営も軌道に乗り始めた頃と思います。

はじめに、昨年度、全日中の諸事業、諸活動に御尽力くださって全ての皆様、大変お世話になりました。何とかここまでたどりつくことができたのは、ひとえに皆様方の御支援、御協力の賜物です。ありがとうございました。

はじめに昨年度の全日中の取組等について三点に絞って、お話しさせていただきます。

まず、一点目は、自然災害に関わる件です。昨年度は四月の熊本地震、梅雨から秋にかけての台風、そして十月の鳥取地震、阿蘇山の噴火、さらには十一月の福島沖地震と自然災害が多発し、各地で甚大な被害が発生しました。被災された皆様方には改めて心からお見舞い申し上げます。

各地区の校長会では、被害に見舞われた地域の学校の情報を収集し、全力をあげて支援を行っていただいていることがわかりました。全日本中学校長会の組織力、行動力を改めて実感することができた一年となりました。

特に、熊本地震に際しましては、五月の全日本中学校長会の総会で被災地支援のために募金をお願いすることを承認していただき、その後、皆様にご協力いただき、八月末日までに六百六十四万八千六百円が集まりました。九月一日に、熊本県中学校長会事務局に送金させていただきました。御協力ありがとうございました。

二点目は、全日中の活動の見直しの件です。具体的には、全日中の経費削減と活動のスリム化を目指した新たな取組を行いました。一昨年度まで五月、七月、十月、一月の年四回実施してきた理事会を五月、十月、一月の年三回としました。また、七月の理事会の際に行っていた役員研修会も取り止めました。更には、毎月行われていた部会の回数の見直しも行い、効率化を図りました。

三点目は、十月に行われた研究協議会の件です。昨年度は、宮城県仙台市を会場に第六十七回全日本中学校長会研究協議会宮城大会が、東日本大震災発災以降、東北地区で初めて開催されました。発災間もない様々な課題に対応しなければならない時期から宮城県と仙台市の校長会の強固な連携のもと、御準備くださり、全国から二千名を超える皆様に参加をいただき盛会のうちに幕を閉じることができました。この間の宮城県、仙台市の会員の皆様方の復興・復旧に向けた思いとご努力、そして大会を成功に導こうという熱意に思いを馳せた時、ただただ感謝の気持ちで一杯になりました。この場をお借りしまして、改めて、宮城県、そして仙台市の会員の皆様方に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、次に今年度の活動に向けて一点、お話しをさせていただきます。

それは、今年度は中学校教育七十年の節目の年にあたっているということです。現行の中学校は、昭和二十二年に学校教育法の制定により新たな3年制の新制中学校として「小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて中等普通教育を施すことを目的とする」という目的のもとスタートしました。その後、私たち校長は、社会や子供達の変容、社会の要請、保護者や地域の願い、思いを真摯に受け止め、さまざまな課題を克服しながら、不易と流行のバランスに考慮し、積極果敢に教育改革に取り組んできました。今後もこの姿勢を堅持し、中学校教育の使命を自覚し、リーダーシップを発揮し、引き続き教育改革に取り組んでいくことが求められます。

そして、この思いを共に確認し、新たな第一歩を踏み出すために、本年十月十八日から二十日にかけて、東京国際フォーラムを会場に中学校教育七十年記念第六十八回全日本中学校長会東京大会が開催されます。ぜひ、一人でも多くの会員の皆様方に御参集いただけるようお願いいたします。

また、この記念すべき年である本年三月三十一日に、次期学習指導要領が告示されました。これから予測困難な時代に、子供たちがその長所を伸ばしつつ課題を乗り越え、一人一人が未来の造り手となれるよう、これまでの学校経営方針、日々の取組を振り返り、まずは私たち校長が新たなビジョンを教職員、保護者や地域に示し、自らの言葉で伝えていくことが求められる時期であると考えます。どうぞ、よろしく願いいたします。

最後に一点、ご報告です。それは、総会の際に行われてきた天皇陛下の拝謁についてです。

昭和二十五年五月に実施された全日本中学校長会第一回総会に際し、天皇陛下の拝謁の機会を得、その後、昨年五月に行われた第六十七回総会までの間に、天皇陛下や天皇皇后両陛下の拝謁を三十四回実施してきました。そして、拝謁が行われない年度には、皇居の特別参観を実施してきました。

しかしながら、諸般の事情により、今回から、拝謁に替わり、皇太子同妃両殿下との御接見を行っていただくことになりました。そして、これまで同様、御接見と皇居の特別参観を隔年で実施しますので、御理解ください。

結びに、実践もあり理論もある有言実行の教育の実践的専門家集団である全日本中学校長会として、我々一人一人が積極果敢に教育改革に取り組み、中学校教育の更なる発展充実を図っていきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、これから二日間、よろしく願いいたします。